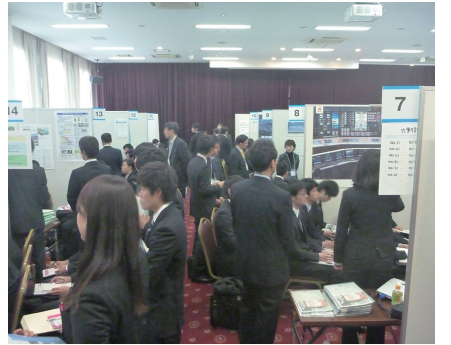


原産セミナーを開催

東京と大阪で説明会

原産協会 学生の前向きな声も

二〇一五年卒業予定の学生を主な対象とした合同企業説明会「原子力産業セミナー二〇一五」が十二月二十二日に大阪で、一月十二日に東京で開催された。(写真左は東京会場、写真下は大阪会場。大阪では十五、東京では二十二の企業・機関)



力業界に対する前向きな声が聞かれた。企業からは「説明会では立ち見が出るほどだった」、「学生が来てくれるから心配していたが杞憂だった」と意欲ある学生の採用を望む様子が見られた。

細胞のナノレベル観察に成功

XFEEL施設用い

理化学研究所、高輝度光科学研究センターなどの研究チームは七日、X線自由電子レーザー(XFEL)施設SACLAを用いて生きた細胞のナノレベルでの観察に成功した。これは、原子力に特化した話をまとめて聞くことができ、有意義だった、「社会人になったら福島の復興に貢献したい」など原子力業界に対する前向きな声も聞かれた。



ハイブリッド手術システムを開発

東芝メディカル

東芝メディカルシステムスは八日、ハイブリッド手術用システム「inix Ceelev」を発表した。このシステムはハイブリッド手術室のレイアウトの自由度を高めるコンパクトな設計とともに、コンビーム撮影機能のLow Contrast Imaging(以下LCI)に新たなアルゴリズムを採用し、金属アーチファクトを大幅に低減することに成功した。またドイツのトルンプ社製手術台との組み合わせを可能とし、多様な装置に対してコンパクトさが求められる。また、コンビーム撮影機能LCIでは、治療デバイスから発生する金属アーチファクトが画質劣化の要因として問題視されていた。さらに、ハイブリッド手術に用いられる手術室でも、その手技や方式の積み、所定の研修を修了すれば審査官に昇任、さらに、七年間の従事でする理士の資格を取得することも可能だ。

特許庁、任期付職員を募集

特許庁は、特許出願の審査業務、審査の品質管理、文庫検索システムの刷新、審査の国際協力などを行う任期付職員を、二月十三日まで募集している。

軽水炉発電のセミナー開催

原安協

原子力安全研究協会は二十七日、二十八日、スタントード会議室(東京都港区東新橋一―一十)で、若手技術者を対象とした「軽水炉発電に関する技術セミナー」を開催する。

各自の専門から「相場観」を

日本技術士会 放射線リスクでフォーラム開催

日本技術士会は昨秋、都内で「放射線リスクと放射線防護をどう考えたらよいか」と題するフォーラムを開催した。広範な専門分野の技術士を対



象とするCPD(継続研修)活動の一環で、今回は、被災地の復興支援に携わった技術士からの要望に沿い、福島の現存被ばく状況を理解するため必要に必要(長崎大学副学長らより講演を行い、参加者が自身の専門に照らしながら、放射線リスクの相場観)をつかむことをねらった。

また、フォーラムは、福島県の復興・復興のあり方について考えさせることを目的とした。その中で、放射線による身体影響に関して講演した。その中で、放射線による身体影響に関して講演した。その中で、放射線による身体影響に関して講演した。

組合せを可能とし、多様な装置に対してコンパクトさが求められる。また、コンビーム撮影機能LCIでは、治療デバイスから発生する金属アーチファクトが画質劣化の要因として問題視されていた。さらに、ハイブリッド手術に用いられる手術室でも、その手技や方式の積み、所定の研修を修了すれば審査官に昇任、さらに、七年間の従事でする理士の資格を取得することも可能だ。

原子力年鑑 2014

日本原子力産業協会 [監修]

The Nuclear Almanac 2014

世界が注目、フクシマのその後

相次ぐシェールガスの生産と再生エネルギー開発の実用化で、世界は今、エネルギー地政学の見直しを迫られている。その一方でフクシマ事故による汚染水の拡大などによって進展にさらされている原子力発電開発。そして、新興国を中心に牽引される原子力導入への動き。世界の専門家が集まり、原子力問題の本質を解きほぐす。

日刊工業新聞社

原子力年鑑 2014

日本原子力産業協会 監修 ●B5判 ●定価15,750円(税込)

1957(昭和32)年から日本原子力産業会議(現日本原子力産業協会)が発行してきた「原子力年鑑」の2014年度版。福島原発事故関連の章を設け、2012年9月以降の約1年間の動きをとりまとめた。執筆陣には原子力関連の各分野で活躍する専門家を迎え、国内外の原子力情勢を正確に記録し、解説する。

◆お求めはお近くの書店または日刊工業新聞社ホームページへ

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 TEL (03)5644-7410
http://pub.nikkan.co.jp/ FAX (03)5644-7400

主な内容

- Part I 潮流―内外の原子力動向
- Part II 福島を契機とした原子力発電をめぐる動向
- Part III 放射性廃棄物対策と廃止措置
- Part IV 各国・地域の原子力動向

- 原子力年表(1895~2013年)日本と世界の出来事
- 原子力関連略語一覧

日刊工業新聞社 出版局販売・管理部